佳作

小樽雪あかりの路

北海道／ゆめぴりかさん

2016 年2月11日。最も寒い時期に北海道の小樽で行われる冬のイベント『小樽雪あかりの路』で夕方から、小樽運河の暮れる様子を撮影していました。橋の上からの撮影で、手も足もかじかむ程の寒さでしたがシャッターチャンスを待ち続けたかいがあり、素敵な街明かりを撮ることができました。

佳作

夕陽に煌めく瀬戸内

兵庫県／今田 裕さん

昨年は曇り空で撮り逃した紫雲出山の夕陽の桜。今年は幸運にも日没間際に青空になり、太陽が沈む直前の陽が山頂にある満開の桜をピンク色に染めました。そして眼下に見える島々・海は霞が漂い残照の色に包まれました。この美しい光景を夢中で撮りました。

講 評

たくさんのご応募ありがとうございました。

ご応募いただいた応募総数 9,173 点の中から大賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 5 点を選考し、受賞作品の講評を頂きました。

クラブツーリズム　受賞作品　検 索

板見 浩史先生
Kouji Itami

フォトエディターとして多くの写真賞やコンテストの審査を担当。
日本フォトコンテスト協会代表理事。
公益社団法人日本写真協会顧問。NPO法人フォトカルチャー倶楽部理事。

平嶋 彰彦先生
Akihiko Hirashima

写真家、編集者。元毎日新聞社出版写真部長、ビジュアル編集室長。
共著に『昭和二十年東京地図』（筑摩書房）、
編著に『宮本常一 写真・日記集成』など。

大賞

5・6月

夜明けの ラベンダー畑にて

茨城県／安曇野さん

板見先生
富士山の写真は四季を通じて多く、また力強い富士山の写真がほとんどですが、ラベンダー畑を入れたメルヘン調の富士山はあまり見ません。あえて6月の富士山を撮影したところが面白いですね。
ラベンダーの色と富士山の山肌の色がマッチして、富士山の人気がますます出るのではないでしょうか。

平嶋先生
ラベンダーと日本の象徴である富士山がうまくなじんでいて、朝の湿気を含んだ雰囲気が写真から伝わってきます。決して派手な画面構成をしているわけではありませんが、見ていて飽きません。うっかりすると手前の黄色い花を切ってしまいたくなりますが、この写真ではとてもよいアクセントになっています。

優秀賞

7・8月

大輪の華

山形県／神尾 彰さん

板見先生
花火の写真は真っ黒な空の写真が多いものですが、完全に暮れていない、空の色が残っているのが上品でいいですね。水平線のオレンジが色鮮やかで、眺めていて飽きません。画面いっぱいに花火を表現していることで安定感がありますし、一方でパステルカラーのようなカラフルな花火が現代的で、新鮮感があります。

優秀賞

9・10月

紅葉の流れ

神奈川県／鈴村 雄誠さん

平嶋先生
遠近感はなかなか表現できず、写真の難しいところですが、この作品はシャッタースピードを工夫することによって、紅葉はきっちりとしながらも、水の流れで遠近感をうまく表現しています。とにかく、水の流れがとてもきれいですね。

佳作　1・2月

厳冬を飛ぶ

埼玉県／さいたまんじろうさん

平嶋先生
背景の樹氷と丹頂鶴の構図がとても情感があります。作者はこの構図を丹念に選んで撮影したのではないでしょうか。

佳作　3・4月

奇跡の夕景

東京都／くろへいさん

板見先生
選んだ時間帯が適切ですね。ほんの少しの時間のずれで、景色はどんどん表情を変えていきます。この作品は太陽が沈み切る直前の、夕日が風景を赤く染め上げる瞬間を見事にとらえています。

佳作　11・12月

乾季のウユニ塩湖のサンライズ

北海道／石本 こずえさん

平嶋先生
乾季のウユニ塩湖を神秘的にとらえた傑作。日の出を狙ったのが、なにより素晴らしい。レンズワークもダイナミックで、網目模様の塩湖と遠方の景色とのコントラストが絶妙です。

佳作

小樽雪あかりの路

北海道／ゆめぴりかさん

板見先生
空の残照が残っているときで、奥行きのある世界を作り上げています。この時間帯を選んだことがすばらしいですね。風がなかったようで、街の明かりが水面に明瞭に映っているのも情感を生み、いいですね。

佳作

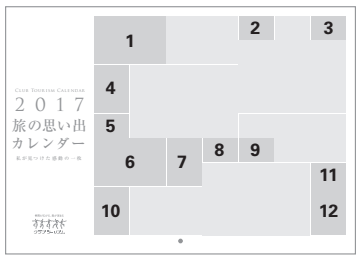
夕陽に煌めく瀬戸内

兵庫県／今田 裕さん

平嶋先生
香川県の紫雲出山は桜の名所としてポピュラーな場所ですが、春霞の感じがいいですね。ともすると晴れている方がいいように思いますが、晴れていると淡い感じはなくなるし、空もどぎつくなります。ガスがあって空が染まったこの時間を作者は狙ったのでしょう。

表紙に掲載した写真

※入賞作品を除く　※（）内は撮影地

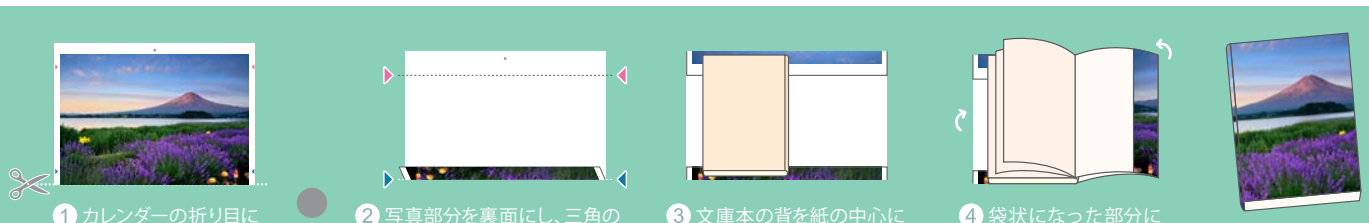


1. 東京都・石橋徹也さん（ノルウェー／スピッツベルゲン島）
2. 北海道・川島ゆいさん（カナダ／ヨーホー国立公園／エメラルド湖）
3. 兵庫県・Dobby さん（岐阜県／白川郷）
4. 宮城県・熊谷健一さん（アメリカ／アンテロープキャニオン）
5. 埼玉県・岸本孝一さん（中国／鳳凰古城）
6. 熊本県・スドケンさん（マダガスカル／バオバブ街道）
7. 兵庫県・名嶋宏征さん（ハワイ／オアフ島／ワイキキビーチ）
8. 東京都・岸田隆雄さん（栃木県／日光千手ヶ浜）
9. 埼玉県・なかよしさん（熊本県／八千代座）
10. 愛知県・Junya さん（ボリビア／ウユニ塩湖）
11. 三重県・明石義男さん（岐阜県／モネの池）
12. 静岡県・服部義則さん（ペルー／マチュピチュ）

カレンダーとしての役目が終わったら

文庫本カバー として。

── 旅の写真を新しい形でお手元に ──



1 カレンダーの折り目に沿ってはさみで切る
2 写真部分を裏面にし、三角の折線に沿って上下を折り込む
3 文庫本の背を紙の中心に置き、回り込む両端を折る
4 袋状になった部分に文庫本の両端を差し込む
5 完成！